

NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY

暮らしを支えるテクノロジー

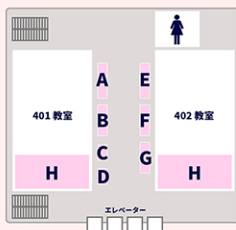
TECHNOLOGY FOR PEOPLE AND LIFE

日本工業大学で開発した福祉に関する作品をご紹介します。

日時 2023/ 3/9 木 11:00 開場

場所 日本工業大学 5号館 4階

会場地図



A：小林桂子研究室 (情報メディア工学科)

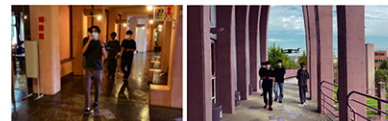
体験をわかちあう「ほどほどマイム実況」と「ふれてあじわう・ふれてかたる」の試み
さまざまな感覚をもつ人たちと、展示や演劇、パフォーマンスといった文化活動の楽しみをわかちあうための試みとして、バンドマイム公演にライブで音声ガイドをつける「ほどほどマイム実況」と、触覚を使って作品を鑑賞した感想をシェアするワークショップ「ふれてあじわう・ふれてかたる」について紹介します。



B：松田洋研究室 (情報メディア工学科)

360度カメラ映像による進館の魅力発信

進館は1980年に開設した客代町のコミュニティセンターです。開館当初から撮影場所として注目されており、昨今ではテレビのロケやファッション誌の撮影にも利用されています。従来の写真では表現できない360度映像で進館を魅力的に建物内外の様子を紹介することを目的としています。



C：野口祐子研究室 (建築学科)

障害別の住環境整備方法を説明したパンフレットを作成

これまで、高齢の方、障害のある方のための環境整備を研究してきましたが、その研究成果を広く知っていただくために、高齢の方、障害のある方やその支援者向けにパンフレットを作成してきました。パーキンソン病、ALS、関節リウマチ、認知症、発達障害など、どんな住環境整備が必要かについて、ご参考になれば幸いです。



D：建築学科 生活環境デザインコース

彩の国連携育成プロジェクト

地域の暮らしを支え、豊かにするために他分野の専門職や地域住民と連携できる人材を育成することを目的とした、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学との4大学連携プロジェクトです。現在は建築学科生活環境デザインコースが中心となって参画し、医療・福祉・建築分野の学生がともに学ぶ実習や、職能団体との共同事業に取り組んでいます。



E：平山晴香研究室 (機械工学科)

デザインの方で、生活をサポートする

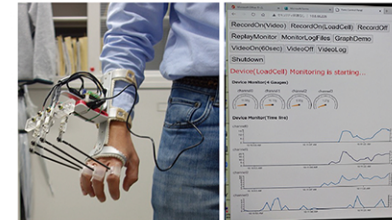
ユーザーだけではなく、サポートする人にも優しいような「人のため」を常に考えたデザイン・モノづくりを行っています。当日は特別支援学校の生徒たちに向けたおもちゃの提案や、円筒高齢者に向けたクッションの提案など多数ご用意しております。



F：桑野文洋研究室 (先進工学部 データサイエンス学科)

リハビリテーションのためのウェアラブル手指運動計測システム

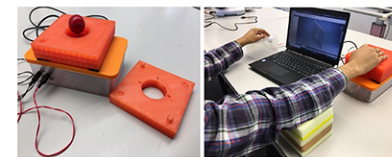
リウマチ患者の手術後のリハビリテーションを支援するシステムの研究です。日常生活における患者の手指運動を計測し、医師らがリアルタイムに確認できるように、手指の運動データをリモートで閲覧できます。脳梗塞患者のリハビリへの応用も期待されています。本研究は国立障害者リハビリテーションセンター研究所との共同研究です。



G：ロボティクス学科 授業「ロボットボランティア」

ロボット技術やその周辺技術を活用したものづくりで社会に貢献する活動を!

特別支援学校と連携して生徒や教員のための機材の提案から開発までを行っています。学生が自分で調査して役に立つ場面、開発機材の概要を提案し、教員からヒントをもらいながら実際に機器を完成させていきます。開発の過程で支援学校からフィードバックをもらい、さらに完成度を上げていきます。写真は、職業訓練のためのスイッチ分離型ジョイスティックマウスです。これらの活動を通して使う人のことを考えた設計ができる人材育成を目指しています。



H：山地秀美研究室 (情報メディア工学科)

モーションセンサを使ったフィジカルトレーニングアプリ

①表示された画像に手や足でタッチするとはじけるようなエフェクトとともに画像が消えます。すべての画像を消したら終了します。
②動き回る円の中のかな文字を正しい順番にタッチし、単語を完成させるゲームです。このほかにも数学を順番に辿ったり、計算問題のゲームもあります。

